



O.tone 毎月15日発行  
あるた出版ホームページ  
<http://www.alter.co.jp/>

あるた出版 検索

特別企画 その日のための防災 家編



東日本大震災で被災したものの形を留めた岩手県のコクリートブロック造住宅と、後にそこに建てられた大船渡津波折念館。



コンクリートブロックの空洞部分に鉄筋を挿入し、そこにモルタルなどを流し込むことでより堅牢な構造に仕上げていく。

断熱材



外壁と内壁の両方にコンクリートブロックを使用し、その間に断熱材を配置した外断熱工法。高い断熱性や蓄熱性、耐久性、遮音性などを併せ持つ。

よねざわ工業

株式会社よねざわ工業  
札幌支店  
札幌市白石区中央3条1丁目1-19  
TEL.011-823-6886  
日曜・祝日休



HPはコチラ▶



コンクリートブロックの味を生かしたゆめくもあるデザインから、あえてコンクリートらしさを出さないビジュアルまで、外観、内観の見せ方も幅広い。ブロックのひとつひとつに丁寧なカットを施すことで、曲線をえがくことも可能だ。

住まいをすっぽりと包み込む外断熱工法を採用することで高気密・高断熱を実現。外気温に影響されず、中の温度を保つので夏は涼しく冬は暖かい。



北海道で産出される火山礫を主原料としたコンクリートブロックは全て自社工場にて製造。強度にも厳しい自社基準を設け、高品質なブロックを造っている。

### 寒冷地の北海道だからこそ コンクリートブロック造住宅を

株式会社よねざわ工業 代表取締役社長 米澤 稔さん

**モ** ルタルなどを接着剤としてブロックを積み重ね、ブロックの空洞を利用して鉄筋を挿入し、さらにそこにモルタルやコンクリートを詰め込んだ強靱な構造のコンクリートブロック(以下C B)造住宅。その頑丈なイメージから耐震性に優れているというのには想像に難くない。柱ではなく壁自体が基礎となっていて、構造や、安全率が非常に高く設定されている設計基準も地震に強い理由といえる。実際、過去の大きな地震においても建築物が大破する事例は発生しておらず、2011年に起きた東日本大震災にいたっては、被災したものの形を留めた岩手県のコ B 造住宅が、後世に残すために大船渡津波折念館として現在保存されている。またC B造自体がファイヤーストープ材としての役割をもち、建築基準法上で耐火構造と定められていることなどから、火災による建築物の倒壊や延焼にも非常に強い。

となると、C B造住宅のさらなるメリットとは何なのか。寒冷地の北海道で災害が起きた場合、大きなポイントとなるのが寒さへの対応だ。「外断熱工法によるC B造住宅は、耐震、耐火性はもちろん、冷気を外から侵入させない断熱性や、室内の温度を長時間持続させる蓄熱性が高いのが何よりの特徴です」とよねざわ工業「代表の米澤 稔さんは語る。

また外断熱工法のC B造住宅は極めて高耐久という特徴も併せ持つ。理由は外気からの温度変化を受けづらいため、構造体の膨張や収縮が少なく経年劣化が緩やかなこと、雨水の浸入や内部結露が生じないことで鉄筋のサビが抑制されること。「家は消費するものではなく資産として受け継ぐもの。外断熱工法のC B造住宅は耐久性が高いことで2世代、3世代と住み継がれ、住宅自体にさまざまな付加価値を付け加えることが可能です。建設時のコストだけではなく、建物の寿命であるライフサイクルコストも考慮すると外断熱工法の

C B造住宅は非常に有利といえます」と米澤社長。長い年月を過ごすことでコンクリートの風合いは徐々に変化し、より魅力的な建物へと変わっていく。  
ほかにも外の雨や風、吹雪の音がほとんど聞こえない遮音性の高さも、またシックハウス対策などに用いられる抗酸化溶液がコンクリートに混ぜられていることで、暮らしの中で生じる臭いも抑えられアレルギー対策にもつながるといってC B造住宅。「安心、安全な家により長く暮らしたい」という、米澤社長のコンクリートにも勝る強固な思いが伝わってきた。

## 耐震や耐久に優れ、断熱・蓄熱性も高い コンクリートブロック造住宅

【株式会社よねざわ工業】

株式会社よねざわ工業  
代表取締役社長  
米澤 稔さん

モットーの言葉は、昨日より今日、今日より明日、一歩でも前に進みたいという気持ちを込めた「日々、新たに」。



O.tone Vol.125  
定価 680yen(本体630円)  
2019年3月15日発行

特集1  
「つついあの店、いつものあの味」

特集2  
「札幌平成プレイバック」